

『第31回 地域経済研究集会』のご案内

この度、『経済成長に関わるミクロ要因分析』をテーマに第31回地域経済研究集会を下記のとおり開催することになりましたのでご案内申し上げます。昨今の経済政策は、イノベーションの推進や人材活用に主眼が置かれていますが、その効果的な施策に結び付く現場レベルの知見はあまり共有されていないのが現状です。そこでミクロレベルのデータや調査に基づく分析を専門とする研究者を招き、こうした課題について議論し、地域経済の発展に資するヒントが得られることを願っております。

多数のご参加をお待ちしております。

広島大学大学院社会科学研究所 附属地域経済システム研究センター
センター長 瀧 敦弘

記

開催日：3月8日(金) (開場：14:00)

会場：広島大学東千田キャンパス 東千田未来創生センター M202 講義室

広島市中区東千田町 1-1-89

URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>

内容：

〔研究報告1〕 14:30-15:20

講師：森 知也 氏 (京都大学経済研究所教授)

演題：“Collaborative knowledge creation: Evidence from Japanese patent data.”

要旨：個々の研究者レベルにおける協調的知の創造のメカニズムをマイクロ・データに基づき分析を行ったもの。新たなアイデアの創造を導くキーは協業者間の異なる知識の交流であり、その質次第で正負両方向に作用することを示す。(報告は日本語による)

講師プロフィール：1996年ペンシルヴァニア大学大学院修了 Ph.D. (都市・地域経済学)

研究分野：都市・地域経済学；「空間経済学」を専門とし、主に、産業集積・都市の空間分布における秩序形成およびその政策的含意に関する理論・実証分析を行っている。

〔研究報告2〕 15:30-16:20

講師：相馬 敏彦 氏 (広島大学大学院社会科学研究所准教授)

演題：『リーダーシップの分化をめぐる；分け隔てる上司の力』

要旨：複数の部下を抱えるリーダーが、どの部下とも一律に「よい関係」を築けるとは限らない。この研究では、介護施設の施設長のリーダーシップに焦点をあてその分化の規定因、ならびにそれが部下である職員の勤務態度にもたらす影響を議論する。

講師プロフィール：2005年広島大学大学院生物圏科学研究科 博士後期課程修了 博士 (学術)

研究分野：社会心理学、パーソナル・ネットワーク、モチベーション

受賞歴：2009年 日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会優秀学会発表賞

2018年 日本パーソナリティ心理学会学会賞

主催 広島大学地域経済システム研究センター

地域経済研究推進協議会

中国地域シンクタンク協議会・地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック